MOKU
もくぬ～る

ピュアクリヤー （ 品番:UC-87-P ）
ピュアフラット ツヤケシ 170% （ 品番:UF-72-97P ）

仕　様　書

玄々化学工業株式会社

◇ 品名／品番

もくぬ～る ピュアクリヤー　／ 主剤：UC-87-P　・硬化剤：CB-189

もくぬ～る ピュアフラット ツヤケシ 170％ ／ 主剤：UF-72-97P ・硬化剤：CB-196

◇ 特　　長

① 圧倒的な耐候性能を有した透明仕上げ。

② 木材の日焼け防止効果に優れる。

③ 耐水、耐薬品性に優れ、木質素材との密着性が良好。

④ 塗り替え回数を減らしてメンテナンスの負担を軽減します。

⑤ 透明仕上げなので、木材の自然な風合いを損ないません。

＜安全性＞

・ホルムアルデヒド放散等級／F☆☆☆☆ UC-87-P :(一社)日本塗料工業会登録 登録番号 G01409
UF-72-97P:(一社)日本塗料工業会登録 登録番号 G01422

・学校環境衛生基準 適合

・厚生労働省が濃度指針値を定める 14 物質不使用

・鉛・水銀・カドミウム・六価クロム等の有害金属類 不使用

◇ 用途

屋内外木製品全般（屋内木製品の白木地仕上げや淡色系着色仕上げ、耐候性の必要な屋外など）

◇ 塗装方法

刷毛、スプレー

◇ 標準塗布量（条件によって異なりますので目安として下さい。）

ピュアクリヤー「UC-87-P」＝80～100g/㎡（配合塗料 1 回塗りあたり）

ピュアフラット ツヤケシ 170％「UF-72-97P」＝60～80g/㎡（配合塗料 1 回塗りあたり）

◇ 標準配合比 及び、可使時間、乾燥時間（条件によって異なりますので目安として下さい。）

ピュアクリヤー「UC-87-P」

		10℃	20℃	30℃
主　剤	UC-87-P	100	100	100
硬化剤	CB-189	50	50	50
うすめ液	TU-**-P	50～75	50～75	50～75
可使時間		8時間	6時間	4時間
乾燥時間（標準値）	指触	20～25分	15～20分	10～15分
	上塗り可能	8時間以上	8時間以上	5時間以上

ピュアフラット ツヤケシ 170%「UF-72-97P」

		10℃	20℃	30℃
主 剤	UF-72-**P	100	100	100
硬化剤	CB-196	10	10	10
うすめ液	TU-**-P	40～50	40～50	40～50
可使時間		3.5時間	2.5時間	1.5時間
乾燥時間（標準値）	指触	20～25分	15～20分	10～15分
	硬化	24時間以上	24時間以上	16時間以上

※主剤に硬化剤を混合後、可使時間を過ぎた塗料は使用しないで下さい。
高温時（液温が高い場合）は可使時間が短くなるので注意して下さい。

◇ 塗料性状（一般性状値であり、規格値ではありません。ロットごとに異なる場合があります。）

ピュアクリヤー「UC-87-P（CB-189）」

項 目	方 法	結 果	
		主 剤	硬化剤
外観（液色）	目 視	淡黄色透明	無色
粘度（液温 25℃）	粘度カップ（IHS-NK2）	16±2 秒	31±9 秒
光沢（グロス） *1	グロス計（IG-320）	90 以上	

*1…素材の吸い込みや塗布量によって異なることがあります。

ピュアフラット ツヤケシ 170%「UF-72-97P（CB-196）」

項 目	方 法	結 果	
		主 剤	硬化剤
外観（液色）	目 視	淡黄色	無色
粘度（液温 25℃）	粘度カップ（IHS-NK2）	34±6 秒	8±0.5 秒
光沢（グロス） *1	グロス計（IG-320）	1～5	

*1…素材の吸い込みや塗布量によって異なることがあります。

◇ 塗膜物性（結果は実測値であり保証値ではありません。）

工程：UC-87-P×2 回→UF-72-97P×1 回

項 目	条 件		結 果
密 着 性（碁盤目試験）	木 地	スギ、ツガ、ゴム、パイン、ナラ、セン、カバ、マツ（ヤニのない部分）	異常なし
耐 水 性	精製水 6 時間後、拭き取り		異常なし

【 耐候性 】

試験方法: 屋外曝露試験(愛知県、 45° 暴露)

基材:杉 ／ 色:チーク

試験結果:

	無塗装	中塗り(UC-87-P):2 回 上塗り(UF-72-97P):1 回	＜参考＞ サドリンクラシック:2 回
試験前	 ○	 ○	 ○
1 年	 ×	 ○	 ○
2 年	 ×	 ○	 △
3 年		 ○	 ×

※試験片は、裏面をシーリングした 5 面塗装になります。

◇ 標準塗装工程

適用範囲: 屋内外木製品全般(未塗装の場合)

①仕　様: 2 液ウレタン 透明 ツヤ消し仕上げ

工 程		使用材料／配合比(重量比)	塗装方法	塗布量(1 回)	乾燥時間(20℃)
1	素地調整	サンドペーパー P180～P240			
2	下塗り	ピュアクリヤー 主剤「UC-87-P」 100 硬化剤「CB-189」 50 ピュアうすめ液「TU-**-P」 50～75	刷毛 スプレー	80～100g/㎡	2 時間以上
3	中塗り	ピュアクリヤー 主剤「UC-87-P」 100 硬化剤「CB-189」 50 ピュアうすめ液「TU-**-P」 50～75	刷毛 スプレー	80～100g/㎡	8 時間以上
4	研 磨	サンドペーパー P320～P400			
5	上塗り	ピュアフラット ツヤケシ 170% 主剤「UF-72-97P」 100 硬化剤「CB-196」 10 ピュアうすめ液「TU-**-P」 40～50	刷毛 スプレー	60～80g/㎡	24 時間以上

②仕　様: 超耐候 2 液ウレタン 透明 ツヤ消し仕上げ

工 程		使用材料／配合比(重量比)	塗装方法	塗布量(1 回)	乾燥時間(20℃)
1	素地調整	サンドペーパー P180～P240			
2	下塗り	CNFシーラー「SW-66」 100 (必要に応じて水にて適宜希釈)	ダスター刷毛 スプレー	100～120g/㎡	6 時間以上
3	毛羽取り研磨	サンドペーパー P320～P400			
4	中塗り	ピュアクリヤー 主剤「UC-87-P」 100 硬化剤「CB-189」 50 ピュアうすめ液「TU-**-P」 50～75	刷毛 スプレー	80～100g/㎡	8 時間以上
5	研 磨	サンドペーパー P320～P400			
6	上塗り	ピュアフラット ツヤケシ 170% 主剤「UF-72-97P」 100 硬化剤「CB-196」 10 ピュアうすめ液「TU-**-P」 40～50	刷毛 スプレー	60～80g/㎡	24 時間以上

※塗装前に汚れや付着物、旧塗膜は除去して下さい。旧塗膜が残っている場合、密着が悪くなる事があります。

※条件によって塗布量、乾燥時間は変わりますので目安として下さい。

※ピュアうすめ液は季節により冬用「TU-11-P」、春秋用「TU-12-P」、夏用「TU-13-P」をお使い下さい。
高温多湿時にブラッシング現象が発生する場合は、リターダー「TU-39」を 10%程度加えて下さい。

◇ 警告

- 引火性の液体である。
- 溶剤中毒の恐れがある。

◇ 注意事項

- 可燃性ですので、火気のある場所での使用、保管は絶対に避けて下さい。
- 塗装時に使用した道具はシンナーなどでよく洗浄して下さい。
- 初めて本製品をご使用される場合には、必ず目立たない場所で試し塗りを行って下さい。
- 他社製品との併用についても同様に試し塗りを行って下さい。併用での不具合については、一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。
- 本来の用途以外には使用しないで下さい。
- 塗料の貯蔵は5℃以上、35℃以下で保存して下さい。
- 塗料使用後は必ず密栓をし、冷暗所(凍結しない場所)に保管して下さい。
- 使用前には塗料を十分撹拌してから使用して下さい。
- 塗布量および乾燥時間は、素材の種類や気温・湿度などにより異なるので目安として下さい。
- 塗布量が多過ぎると乾燥が著しく遅くなり、ツヤムラ・乾燥不良の原因になりますので注意して下さい。また、塗布量が少な過ぎると塗料の性能を十分に発揮することができない場合があります。
- 塗装前に、素材の汚れ、ヤニ、ワックスなどを除去してから塗装して下さい。
- 旧塗膜を十分に取り除いて下さい。他の塗料が既に塗装してある面には必ず試し塗りして下さい。
- 5℃以下での使用は避けて下さい。また、雨、雪の日や湿度が80%以上の日は塗装を避けて下さい。(乾燥時間が著しく遅くなります。)
- 木材の乾燥が不十分な場合、塗膜の性能を十分に発揮することができない為、木材の含水率を20%以下に調整してから塗装して下さい。
- 南洋材系堅木などの硬質材は高密度であり、塗料が浸透しにくい為、塗装の際は注意して下さい。
- 下地が十分に乾燥していない状態で塗装した場合、仕上がりに影響が出る可能性があります。また、塗装後も同様に水などの影響が考えられる場合は注意して下さい。

- どのような場合でも換気に十分注意して下さい。
- 使用中は手袋などをして皮膚に付かないようにして下さい。
- 使用後は手洗い(うがい)をして下さい。
- 子供の手の届かない所に保存し、誤飲、誤食しないように注意して下さい。
- 植物や動物に掛からないように注意して下さい。
- 製品の取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、または送気マスク、保護手袋、前掛けなどを着用して下さい。
- 飲まないで下さい。もし、誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の処置を受けて下さい。
- 目に入らないように注意して下さい。目に入った場合には直ちに大量の水で洗い、医師の処置を受けて下さい。
- 皮膚に付いた場合には石鹸で水洗いをして下さい。
- 容器からこぼれた場合には布で拭き取り、水を張った容器に保管して下さい。
- 火災の場合は、消火に炭酸ガス、泡または粉末消火器を使用して下さい。
- 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 使用前には容器(ラベル)、カタログ、見本帳などの取り扱い注意事項を必ず読み厳守して下さい。
- 製品の取り扱いに当たっては、安全データシート(SDS)に従って下さい。
- 製品は性能の改善の為に予告無く仕様を変更することがあります。

◇ 廃棄方法

- 各自治体の廃棄物処理条例に準じて廃棄して下さい。
- 水路や下水道には流さないで下さい。